ユーザーガイド

検査・判定の見方・駆除版と検査報告書

Shield3D v2.7
2026年11月

1. Shield3D でできること
2. 画面の見方
3. 検査する
4. 判定の見方
5. 駆除版と検査報告書
6. このPCをチェック・駆除する
7. ウイルス定義の更新と ClamAV
8. 表示言語・データの保存場所
9. 困ったときは

1. Shield3D でできること

Shield3D は、Maya を起動せずに Maya のシーンファイル（.ma / .mb）・スクリプト・zip を検査し、ウイルスが見つかれば不正な部分だけを取り除いた「駆除版」を作るソフトウェアです。

- **開く前に検査**：ファイルを解析するだけなので、シーンの中のコードが実行されることはありません。
- **まとめて検査**：フォルダや zip を丸ごと、何百ファイルでも一度に検査できます。
- **駆除版を自動で作成**：不正なノード・コードだけを取り除き、もう一度検査して問題がないことを確かめてから書き出します。元のファイルは変更しません。
- **検査報告書（PDF）**：検査の日時・方法・結果・処置をまとめ、取引先に提出できます。
- **ファイルを外部に送らない**：検査はすべてお使いのPCの中で行います。

駆除版・検査報告書はスタンダード以上のプラン（無料試用中を含む）で使えます。検査（判定）・PCチェック・PC駆除はすべてのプランで使えます。

2. 画面の見方

場所	内容
検査するもの	「フォルダを追加...」「ファイルを追加...」で検査するデータを選びます。ここにドラッグ＆ドロップもできます。「選択を外す」「すべて外す」で一覧から外せます。
オプション	駆除版を作る／検査報告書PDFを作成／問題のないファイルも駆除版フォルダにコピー／厳格モード／VirusTotalでハッシュ照合／zipのパスワード
検査を開始	検査を始めます。終わると結果がブラウザで開きます。
結果フォルダ／レポートを開く	直前の検査の結果を開きます。
右上のプラン表示	現在のプラン（無料試用中は残り日数）。押すとライセンスの画面が開きます。
メニュー	ファイル／ツール（ウイルス定義の更新・PCチェック・PC駆除・検査報告書の作り直し）／ライセンス／ヘルプ／Language / 言語

3. 検査する

1. Shield3D を起動します（スタートメニュー、Mac は Launchpad）。
2. 「フォルダを追加...」または「ファイルを追加...」で、納品データのフォルダ・シーン・zip を選びます。
3. 必要なオプションにチェックを入れます（下の表）。
4. 「検査を開始」を押します。終わると結果がブラウザで開きます。

オプション	内容
駆除版を作る	問題のあったファイルの駆除版を、結果フォルダの「駆除版」に書き出します。元のファイルは変更しません。
検査報告書PDFを作成	取引先に提出できる検査報告書を作ります。「クライアント名（報告書の宛先）」を入れると「○○ 御中」と記載されます（空欄なら宛先なし）。
問題のないファイルも駆除版フォルダにコピー	駆除版フォルダを、そのまま納品一式として使えるようにします。
厳格モード	「要確認」と判定された、Maya標準ではない自動実行のスクリプトノードも駆除の対象にします。
VirusTotalでハッシュ照合	ファイルのハッシュ値だけを VirusTotal に問い合わせます（ファイル本体は送りません）。お客様ご自身の Premium API キーが必要です。
zipのパスワード	パスワード付きの zip を検査するときに入力します。

4. 判定の見方

判定	意味	対応
感染	既知のウイルス、またはウイルス対策エンジンが検出	Mayaで開かない。駆除版を使うか、再納品を依頼
危険	開くと自動で実行される不審なコード、隠されたコード、埋め込まれた実行ファイルなど（未知の亜種の可能性）	同上
要確認	ウイルスとは限らないが、納品データには通常ない要素（標準外の自動実行ノード、.exe、userSetup など）	中身を確認
検査不能	パスワード付き・破損などで中を読めない	展開・パスワードを指定して再検査
問題なし	何も見つからなかった	—

結果画面では、ファイルごとに「何が・どこで（ノード名・行）」見つかったか、難読化を解除した中身、通信先（URL・IPアドレス）、SHA256 を確認できます。

5. 駆除版と検査報告書

駆除の仕組み

ファイル	処理
.ma	不正なノードと、それを参照する行だけを削除します。それ以外は1バイトも変えません。
.mb	不正なコードを同じ長さの空白で上書きし、自動実行を止めます（無害化）。ファイルの構造が変わらないため、Mayaで開けなくなる心配がありません。ノードの名前だけが残ります。
userSetup	ウイルスが書き込んだ行だけを削除します。
zip	中身を駆除版に差し替えて作り直します。
ウイルス本体・実行ファイル	修復できないため、駆除版から除外します。

駆除後はもう一度検査し、問題が残っていれば「駆除失敗」として出力しません。

> 駆除版（特に .mb）を初めて開くときは、Mayaの「スクリプトノードを実行（Execute script nodes）」をオフにして開き、問題がないことを確認してください。元のデータは必ず保管してください。

検査報告書

「検査報告書PDFを作成」にチェックを入れて検査すると、結果フォルダに検査報告書（PDF）ができます。過去の検査結果からは、メニュー「ツール」→「検査報告書を作り直す...」で作り直せます（宛先も入力できます）。発行者名はご契約の会社名です（プロ以上は設定ファイルの `report` で自由に設定できます）。

6. このPCをチェック・駆除する

受け取ったファイルをすでに開いてしまった場合など、お使いのPCの Maya 環境に感染がないかを調べます（全プラン共通）。

1. メニュー「ツール」→「このPCのMaya環境をチェック」。Mayaのユーザーフォルダ（userSetup・scripts など）、環境変数、Mayaのインストール先を検査します。
2. ウイルスが見つかった場合は、Maya をすべて閉じてから「このPCのMaya環境を駆除」を実行します。元のファイルは「隔離」フォルダに退避します。

> 既知のウイルスではない「危険」判定のファイルは自動では消しません。中身を確認してください。

7. ウイルス定義の更新と ClamAV

メニュー「ツール」→「ウイルス定義を更新」で、Shield3D の定義を最新にします。新しいウイルスが見つかった場合も、アプリを入れ直さずに対応できます（フリープランは30日に1回、スタンダード以上は即

日)。

ClamAV（無料）を入れると、一般的なウイルス・トロイの木馬などの検出が広がります。

- Windows：https://www.clamav.net/downloads から Windows 版をインストール
- Mac：Homebrew で `brew install clamav`

インストール後に「ウイルス定義を更新」を押すと、ClamAV の定義も同時に更新されます（管理者権限や設定ファイルの編集は不要です）。メニュー「ツール」→「検査エンジンを確認」で、使えるエンジンを確認できます。Windows では Microsoft Defender も自動で使います。

8. 表示言語・データの保存場所

メニュー「Language / 言語」で「自動（OSの言語に合わせる）」「日本語」「English」を選べます。再起動すると切り替わります。

	設定・定義・隔離	検査結果
Windows	`%APPDATA%\Shield3D`	`ドキュメント\Shield3D\結果`
Mac	`~/Library/Application Support/Shield3D`	`書類/Shield3D/結果`

結果フォルダには、検査結果（HTML・CSV）、`report.json`、駆除版、検査報告書が入ります。お問い合わせの際は `report.json` をお送りいただくと、ファイル本体なしで判定を再現できます。

9. 困ったときは

こんなとき	対処
「駆除版を作る」が押せない	フリープランでは使えません。右上のプラン表示から、有料プランへの切り替えまたは無料試用をお申し込みください。
zip が「検査不能」になる	パスワード付きの場合は「zipのパスワード」に入力して再検査してください。
ClamAV が「未インストール」になる	ClamAV を入れたあと「ウイルス定義を更新」を押してください。
検査報告書がPDFにならない	Microsoft Edge または Google Chrome が必要です。HTML版をブラウザで開き、印刷 → PDFで保存でも作れます。
起動時に OS の確認画面が出る	「インストール・ライセンス認証ガイド」の手順をご覧ください。
ご契約・請求書・PCの解除	お客様ページ（`/portal`）で確認・変更できます。お問い合わせは製品サイトの「お問い合わせ」から。

どの検査ツールも、あらゆる脅威が存在しないことを保証するものではありません。駆除版を使う場合も、元のデータは保管してください。

Shield3D は Autodesk, Inc. とは関係のない製品です。Autodesk、Maya は米国およびその他の国における Autodesk, Inc. の登録商標です。
© Cave Studio Inc.（株式会社ケイブスタジオ）